

ていさく 貞作通信

「しっかり発言、きちんと報告します」 市政に関する、ご意見・ご要望をお聞かせ下さい。メールアドレス
kyousankaneko@yahoo.co.jp

空き地・農合・自の代替地



外環代替地の活用で 国交省・財務省と懇談

国交省「要望があれば 払い下げる」考え示す



衆議院第一会館の会議室で懇談

と説明。そして「市から公共施設などで活用の要望があれば、払い下げる考えがある」との認識を示しました。

市も「協議の準備 が必要」と答弁

外環代替地の活用問題で6月14日、日本共産党志位和夫事務所を通じて、私と清水市議、岡田県議、みわ前県議、住民らは国交省・財務省と懇談しました。

国交省との懇談後、私は6月市議会の一般質問で、曾谷6丁目の代替地を特養ホームや保育園など公共施設として活用できるように国と早く協議開始するよう要求しました。

岡田県議が「外環代替地の活用計画と曾谷6丁目（6千㎡）のまとまった土地を特養ホームや保育園として活用できるように払い下げられないか」と要請。国交省は「生活再建の為に、代替地を用意した。用地買収率は99%に達している。今後の活用は、公共施設の需要把握をしながら、調整を開始している」

それに対し街づくり部長は「活用等について事業者から相談があった場合、具体的な協議が可能となるよう準備も必要と考えている」と答弁。福祉部長も「民設民営による整備を基本に、社会福祉法人から相談があれば協力する」と答弁しました。私は、市に「国に代替地の無償譲渡を求める」よう要望しました。

「市川市空き家等の 適正管理条例」が可決

6月市議会で、市長提出の「市川市空き家等の適正管理条例」が全会一致で可決。日本共産党も議会で早期制定を求めてきました。

市内で管理不十分な空き家が増えて、市民から心配や苦情が増加しています。

の空き家が市内に166戸あることが判明しました。

管理不全の空き家 市内に166件

空き家は市内で2万6660戸（一戸建ては約3千）。本来、建築物や敷地等は所有者が適正な管理をすべきですが、管理不全状態

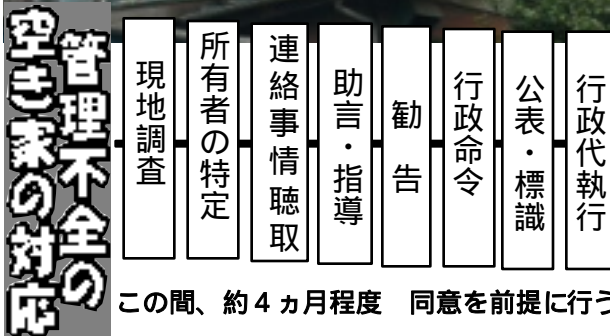
管理不全の状態は、建築物が劣化や老朽化により荒廃している。草木の繁茂、又はそれに伴う害虫・害獣が発生している。施設不備等により不審者が侵入する等犯罪が発生しやすい状態を言います。

行政代執行 を規定

本条例では、空き家等を適正に維持保全するための所有者又は管理者の責務を明らかにするとともに、管理不全状態の空き家の所有者に対し、助言、指導、勧告及び命令を行うことを規定、適正な管理を促し、良好な住環境を維持することが目的です。



市内にある空き家



私は「行政代執行をとあるが対象は市内に何戸あるのか」との質疑に対し、市は「家が傾いて危険な状態の家屋が2戸ある。所有者同意のもとに、市が必要最小限の対応を代行する場合があり、その費用は後日回収する。市民相談の窓口は、建築指導課が対応する」と答弁しました。

「原発ゼロ」めざして

大飯原発再稼働ストップ 再生可能エネルギーの普及を

「原発ゼロ」の世論と運動の中、国内すべての原子力発電所が5月5日、運転を停止しました。私は一般質問で、原発再稼働に反対し、地産地消の立場で再生可能自然エネルギーの積極的な普及を求めました。

市長答弁せず 再稼働を容認

全ての原発停止は42年ぶり。ところが政府は国民の世論を無視して大飯原発再稼働を決定しました。

私は市長に再稼働反対の姿勢を求めましたが市長は答弁に立たず、企画部長に「原発ゼロにこだわらず、依存度を下げて再生可能エネルギーの普及を図る」と答弁させ、事実上再稼働を容認しました。

再生可能 エネルギー提案

太陽光発電の助成金の増額を求める。

東京都新宿区の場合、都の補助金などを合わせると3*。Wの場合86万円。市川市の場合、県の助成金を入れても



24万円。助成金の増額の求めに対し、環境清掃部長は「現状維持」の姿勢に終始しました。

共同住宅(マンション)の太陽光設置助成金の創設を求める。

7月から再生可能エネルギー全量買い取り制度の施行やマンションの屋上を活用した発



電が期待されています。部長は「先行市の事例や国の動向を見ながら調査・検討」と答弁。

設置に対する市内業者優遇制度を求める。

県内の銚子市や茂原市は市内業者と契約すると補助金を一百万円の上乗せしています。市内経済活性化にも役立と要求。部長は「市内業者と契約を結ぶ先進事例を参考に今後研究する」との答弁にとどまりました。

飯田市のゼロ円システム設置導入を求める

税金を使わず、民間会社を立ち上げ、市民出資ファンドで普及に成功しています。設置者の初期費用の負担なしの仕組みを求めました。部長は「調査・研究」を約束しました。

水力など太陽光以外の普及促進を求める

部長は「地域の特性を生かし、都市部での効果やコストを研究し、普及拡大を考える」と答弁しました。

大野町2丁目



道路が冠水、 万葉植物園通り

6月22日、明け方の大雨で長くつなしでは通れない道路冠水。住民の連絡うけて大野町2丁目の万葉植物園通りを現地調査しました。ここは前から排水対策を要望し、最近も排水ポンプの機能強化を図ったばかりです。6月25日、道路安全課の課長に実態写真を見せて、さらなる排水対策を要望しました。

市川大野駅北口の 車止め一部外しました



写真左が改善前、上が改善後です

昨年から要望してきた市川大野駅北口の車止め、6月中旬に内側の3つが撤去され、駅利用者から「これで通行しやすくなった」と喜ばれています。

長期予報では、今年の夏はやや暑くなりそうです。梅雨が明け、本格的な夏の到来です。熱中症に気をつけましょう。6月市議会が22日、閉会。私は住宅リフォーム条例提案に対する答弁を行い、議案質疑、一般質問と出番が多忙な議会でした。議員提出の条例案は、議会多数で提案理由の説明及び委員会付託の省略を決定。提案理由の説明もさせない議会は一体何なのか。憤りを強く感じました。

編集後記

お気軽に 相談を

仕事
くらしの
悩み

連絡先 金子貞作 337-6184 (夜間)